

2015年1月16日

常磐線内郷駅新駅舎の供用開始について

JR東日本水戸支社では、常磐線内郷駅の駅舎改築工事を平成26年11月より進めてまいりました。

このたび、内郷駅については平成27年2月21日より新駅舎の一部供用を開始しますのでお知らせいたします。

1 設計コンセプト

遺構こみち～地域の歴史と遺構を想う駅～

内郷地区には国宝、白水阿弥陀堂の他、常磐炭鉱の産業遺構ともいうべき選炭場や貯炭場などの建物が多く残されています。常磐炭鉱の産業遺構を連想させる石造りのような壁を広場側に配置し、壁と駅舎の間に「こみち」のような空間をつくります。「こみち」を通して、訪れる人が地域の歴史と遺構に想いをめぐらせ、駅が地域の一部として親しまれる駅舎を目指します。

2 施設の概要

構造 : 木造平家建
延床面積 : 68.7 m² (建築面積 : 84.0 m²)
待合スペース : 23.4 m²

3 施工期間

2015年2月21日 一部供用開始予定
3月下旬 既存駅舎取り壊し後、全体供用開始

4 事業主

東日本旅客鉄道(株)水戸支社

【内郷駅 工事着手前（平成 26 年 10 月頃）の写真】



【内郷駅 完成イメージ】

